

Lesson 10 敵と対戦して ～国を変えた試合～

Part 1

① 南アフリカでの1995年ラグビー・ワールドカップ決勝戦は、世界の大部分の人々にとっては、最も興奮する国際試合の1つだった。しかし、南アフリカ人にとってはそれ以上の意味があった。国中のすべての、さまざまな人種の人々が、将来への大きな希望をもってその試合を見ていた。かつて敵同士だった人々が、一緒になって自分たちの代表チームを応援していた。

② 南アフリカでは、アパルトヘイトと呼ばれるシステムのもとで、黒人が長い間差別されていた。彼らはよい教育を受けたり、仕事を見つけたり、白人専用の特定の地域に住んだりすることができなかった。その結果、この考えに反対する人々の数が、国内外で増えていった。ネルソン・マンデラは、そういった人々の集団を率いているときに警察に連行され、刑務所に入れられた。彼は、1990年にようやく解放されるまで、27年間小さな独房に拘束されていた。